



FLOW トークンエコノミクス

はじめに

多様なユースケース

広い分配範囲

低インフレ

技術について

Conclusion: Genesis 最後に : Genesis

本プレゼンテーションには、将来の見通しに関する記述が含まれております。「可能性がある」「予定である」「べきである」「プロジェクト」「予想する」「考えている」「予測する」「意図である」「期待する」「継続する」などの表現および同様の表現、またはそれらの否定形は、概して将来の見通しに関する記述と判断するものとします。企業およびアフィリエイトの意図的な行動およびパフォーマンス目標を含む、当該将来の見通しに関する記述は、既知および未知のリスク、不確定要素、および当該将来の見通しに関する記述による明示的または黙示的な将来的な結果、パフォーマンス、実績、機能性とは大きく異なるFlow、ブロックチェーン、ネットワークおよびトークンの機能同様、Flow、ブロックチェーン、ネットワークおよびトークン開発における企業の実績、パフォーマンス、または業績の原因となり得るその他重要な要因を伴います。将来的なパフォーマンスまたは当該将来の見通しに関する記述に関し、いかなる表明または保証もいたしません。本プレゼンテーションの将来の見通しに関する記述は全て、本プレゼンテーション公表日現在における予想です。当社は、こうした声明のもととなった出来事や状態または状況のいかなる変化に関しても、同社の見込みの変化を反映するために、ここに含まれるいかなる将来の見通しに関する記述の更新および改訂を配信する義務や履行の責任を明確に負わないものといたします。

FLOW トークンエコノミクス

Flow は、オープンワールド向けのブロックチェーンです。

Flow は、モジュラーとして将来性のある、ユーザーおよび開発者の両者に優しいブロックチェーンの開発を目的とし、イーサリアムネットワークで最も成功している暗号アプリケーションを支えているチームがゼロから再設計しました。

Flow の新しい 4 ノードアーキテクチャは、分散化をあきらめたり、ネットワークをシャードに分割したり、または「レイヤー 2」ソリューションを利用することなく、スピードおよびコスト面において大幅な改善を実現します。詳細は、ze.nr/primer からご確認ください。

The FLOW token (“**FLOW**” or “**F**”) is the native currency for the Flow network and the keystone for a new, inclusive, and borderless digital economy. If blockchains are digital infrastructure, the Flow token is the fuel that powers the network.

FLOW トークン（以下「**FLOW**」または「**F**」）は、Flow ネットワーク内のネイティブ通貨であり、新しく、包括的かつボーダーレスなデジタルエコノミーのためのキーストーンです。ブロックチェーンがデジタルインフラストラクチャーである場合、Flow トークンは、ネットワークにパワーを与える燃料となります。

FLOW が新世代のゲーム、消費者アプリケーション、およびこれらを強化するデジタル資産のための理想的な通貨となる重要な特徴がいくつかあります：

1. **多様なユースケース**
2. **広い分配範囲**
3. **低インフレ**

それぞれについて、さらに詳しく説明して行きます。

多様なユースケース

FLOW は、Flow ブロックチェーン上に構築されたアプリ、ゲームおよびスマートコントラクトのためのネイティブ通貨です。このため開発者およびユーザーが、ネットワーク上でのトランザクションにこの通貨を利用することができるということが保証されています。開発者は、サービスへ対する請求をしたり、消費者自身が生み出した価値に対する報酬を獲得するためのピアツーピア決済用に、FLOW をアプリへ直接、簡単に組み込むことが可能です。さらに FLOW は、ユーザー同士のピアツーピアにより保有、転送またはトランザクションに利用することも可能です。

トークン保有者は、セキュリティデポジットとして FLOW をステーキングし、バリデータノードを実行することでネットワークの安全性を強化しようと取り組む、または自身のステーキングをプロのオペレーターへ委託し、代わりにバリデータノードを実行することにより、報酬を獲得することが可能です。バリデータノードは、ネットワークに必要なセキュリティ、計算お

よびストレージサービスを提供する代わりに、ステーキングの報酬およびトランザクション手数料を獲得します。

新規ユーザーアカウントから、資産やスマートコントラクトのためのストレージまで、ネットワーク上の全てのアクティビティでは、少額のFLOWトークンが必要となります。ネットワークが成熟するにつれ、FLOWトークンの保有者は、今後も増え続ける様々な方法でFLOWを使用することが可能となります：

- 計算および検証サービスへ対する支払い（例：トランザクション手数料）
- 交換手段
- データストレージへのデポジット
- セカンダリートークンへの担保
- ガバナンスへの参加

完璧な決済とは、あらゆる関係者へ対しシームレスな体験を提供することです：購入者は、保有しているあらゆる通貨で支払いを行います；販売者は、希望するあらゆる通貨で価格を設定し、支払いを受取ります。Flow上のアプリケーションでは、これを実現することが可能です。Flowでは高いスループット、低い手数料、さらにACIDを完全に保証することで、開発者が、トークン間でクリアリングハウスとして機能する分散型取引所（DEX）を実装することができますようになります。Flowでは、これらのDEXにおけるフロントランニング攻撃をかわすため、[高頻度バッチオークション](#)を利用するという機能が備わっています。

FLOWトークンはネットワーク上に遍在しているため、薄商いであるトークンペア間での通貨交換のための「ブリッジ資産」であることは明確です。Flow上のセカンダリートークンの数が多くなるにつれ、取引可能なペアの数も飛躍的に増加し、これはあるスワップにおいては、FLOWなどの仲介資産が必要になるということを意味しています。

重要なことですが、ネットワーク上の、例えばストレージの支払いおよび／または担保として機能するその他のトークンを作成したり、使用するためには、FLOWが必要となります。これについては、以下の技術に関する記述で概説し、今後ホワイトペーパーで詳細を説明いたします。さらなる価値がFlowブロックチェーン上で生み出されると、FLOWトークンの需要もさらに高まり、経済的にもインパクトを与えることとなります。

広い分配範囲

ネイティブトークンの分配は、ネットワークの分散化および長期的な成功にとって必要不可欠です。トークンの供給を集中して管理してしまうと、開発者が簡単にアクセスすることができなくなります。また開発者が、ネットワーク上でストレージやアカウントデポジットをカバーし、さらに新たにスマートコントラクトをデプロイし、トランザクション手数料（「ガス」）を支払うためには、ネイティブトークンが必要となります。

Flowの可能性を十分に実現するためには、安全かつ持続可能な分配方法が重要です：FLOWトークンは、ふさわしい人に管理してもらわなければなりません。技術力およびクリプトエコノミクスのセキュリティに加え、健全かつ持続可能な分配方法は、Flowブロックチェーンの長期的な成功において非常に重要です。

FLOWは様々な新しいコミュニティが、ブロックチェーンおよび分散型アプリケーションへアクセスするきっかけとなり、憶測ではなく、実際のユースケースから構築および利益を得ることとなるでしょう。優れたユーザー体験を設計することで、FLOWの保有および利用がシームレスになります。最終的にFLOWは、価値を生み出し、共有するコミュニティを全て一緒にネットワーク上に構築することに繋がります。

Flowでは、大規模なエンゲージメントプログラムを開発しています：

- **クラウドバーストパートナー**：1つ以上のFlowバリデータノードを運用し、Flowネットワークコンテンツを構築する開発者、設計者、アーティスト、コミュニティオーガナイザーおよびアントレプレナーへ対し報酬を分配するため、FLOW保有者が選出した組織または個人
- **多数のバリデータ**：Flowの早期サポート、最小必要量のコンテンツ構築のヘルプ、持続可能なネットワークに必要な分散型リソースに関心のある開発者、インフラストラクチャーパートナーおよびその他のエコシステム参加者
- **分散型のレピュテーションおよびインセンティブプロトコル (DRIP)**：アクセシビリティおよびFlow上のアプリが熱心なユーザーを獲得することができるよう、サポートを提供するために設計され、DRIPがステーキング、担保およびFlowエコノミーへの積極的な参加の目的においてFLOWトークンをエンドユーザーへ分配します。

パワフルなテクノロジー、素晴らしいコミュニティ、そして強力なインセンティブ設計のおかげで、FLOWでは、今日のアーリーアダプターが、明日のオープンワールドを構築することが可能となります。

低インフレ

Flowなどのブロックチェーンは、ネットワーク上のアクティビティをサポートし、資産価値を安全に保つコンピューターハードウェア（「バリデータノード」）を実行する分散型コミュニティが原動力となっています。その他のブロックチェーンでは、バリデータノードオペレーターをネットワークへ引き込むため、新しいトークンの作成および配布（「インフレ」）に大きく依存しています。

残念ながら、あらゆるエコノミーにおいて、インフレには代償が伴います：新たに作成されたトークンサプライは、全トークン保有者を希薄化することで、保有に対する税金または日常的に使用するものとして機能します。Flowでインフレに上限を設定しているのはこのためです。実際に、Flowではネットワーク手数料が増額するにつれ、インフレは低くなります。

Flow では通常、ノードオペレーターに対し一定の支払額を保証し、トランザクション手数料と保証されている支払額の差を埋めるために必要な場合にのみ、新たなトークンを発行しています。トランザクション手数料がこの支払額に近づくにつれ、新発行は0%に近くなります。トランザクション手数料が支払額を超過すると、将来的なインフラを相殺する目的で使用するため、エスクローアカウントに無期限で保管されます。

運用初年度は、担保、支払いおよびその他 Flow エコノミーを補完する部分が成熟すると同時に、より高度なステーキングを促進する目的でインフレは高くなります。

技術について

トランザクション処理および計算

分散型ネットワークとして現在、Amazon Lambda が処理能力に対し請求しているように、Flow ではユーザー（またはユーザーが使用しているアプリ）に対し、サービスに関するアクション 1 件ごと請求を行います。

Flow ネットワークでは 2 種類の手数料が発生します：

- **処理手数料**は、トランザクションを送信およびブロックへ含めるための手数料です。
- **計算手数料**は、残高のアップデート以外で計算が必要とされるより複雑なオペレーションへ追加されます。

特にネットワークの初期では、トランザクション手数料は 0.001 FLOW または 1 mF (milli FLOW) と低い設定となります。

ステーキング報酬およびインフレ

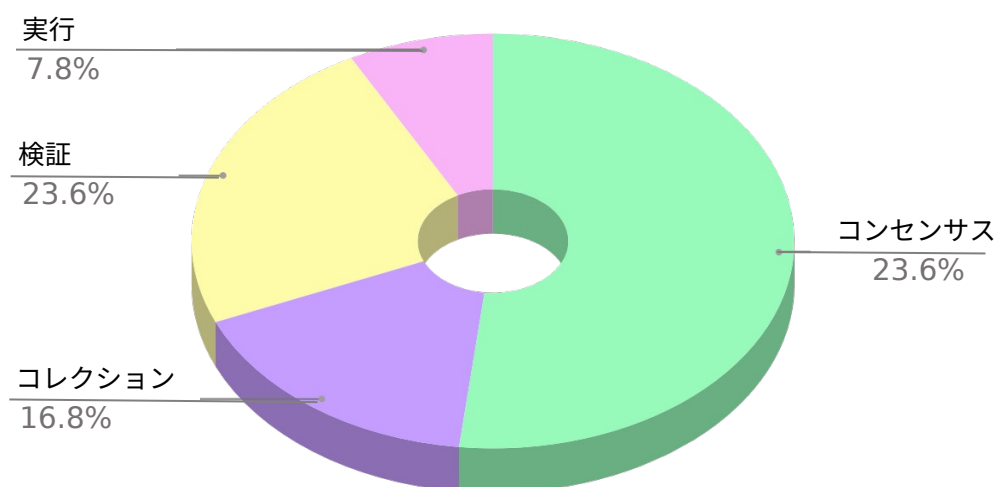
プルーフ・オブ・ステークネットワークとして、Flow ブロックチェーンでは、ブロックチェーンを実行するインフラストラクチャーの一部として参加するため、FLOW トークンで表示されるセキュリティデポジットをロックするためのバリデータノードが必要です。これはステーキングとして知られています。ステーキングは、低コストの「シビル」攻撃（ネットワーク上で 1 人の攻撃者が、たくさんの個人になりすまし、不適切な影響力を得ること）を防止し、バリデータがネットワークを攻撃しようとした場合、没収するが可能な担保付きのデポジットとしての機能を果たします。

Flow では毎年、新発行（インフレ）およびトランザクション手数料（インフレとの組み合わせでは「総報酬」）の組み合わせにより、バリデータノードオペレーターへの報酬として、FLOW トークン全体の一定数量を分配しています。総報酬は、ネットワークの安全性を確保しながら、最小限となるよう慎重に選定されます（現在、年間総トークンサプライの 3.75% に設

定される見込みです)。過度のインフレはあらゆる予期せぬ結果を招き、ステーキングの対象とならないケースでは、トークンの魅力が損なわれてしまいます。

ステーキングをする人が、常に最も必要な役割であるノードへとして意欲的に参加してもらうためにも、各役割へ割り当てられる総収入は、報酬係数として知られる一連の倍数により調整されます。これらの値は、プロトコルにより自動的に調整されます：特定の役割が、他の役割と比較しステークが継続的に低い場合、実際のステーキングバランスがターゲットとなる比率に近くなるまで、プロトコルがその種類のノードへの支払額を増額します。以下の図で示している通り、初期にはノードプール間で分割されます（セキュリティを最適化する目的で計算されます）。

ターゲットステーキング比率（バリデータとしての役割）



Flow ノードは報酬を受け取るため、プロトコルで決定した手順に従います（ノードの役割に基づきます）。プロトコルから外れたものは、報酬支払額が減額になるか、罰を課せられる結果となり得ます。この賞罰の構造は、プロトコルのセキュリティを保証し、時間の経過とともにパフォーマンスを最適化するための設計となっています。

深刻なインフラは、ネットワークの安全性を損ない、罰を課せられたノードから、ステーキングをした一部または全てのトークンが没収される、またはトークンが焼却されるという可能性に繋がります。これは「slashing（資金の没収）」（「slashing 条件」）として知られています。[本文書](#)では、プロトコルのセキュリティに繋がるプロトコルに対する最も深刻なインフラについて概説いたします。これらの条件を適用することは、プロトコルのクリプトエコノミクスセキュリティにとって非常に重要です。Flow では、安全性および活性にとって深刻な脅威が没収

可能な条件である場合やその脅威自体のみを考慮しています。また、パフォーマンスに関連した slashing ペナルティーはありません。

ストレージへの支払い：FLOW 最低残高

Flow 上のストレージは、スマートコントラクトではなく、個人のユーザーアカウントと関連付けることが可能です：これは些細な機能ではありますが、Flow アプリケーションのユーザー体験に多大なプラスの影響を与えます。この機能のないブロックチェーン上では、スマートコントラクトの開発者の代わりである「state rent」の滞納は、ユーザーの資産を一掃する原因となり得ます。Flow 上では、ユーザーの資産は、ユーザーの同意なしに消滅したり、処分されることは決してありません。

Flow では、（FLOW 内に）ロックされたデポジットとして最低残高を求めることで、アカウントごとにチェーン上のストレージ費用をカバーしています：このデポジットは使われることはありませんが、流通することもなく、ストレージを提供しているバリデータノードへのステーキング報酬を増額します。

ローンチ時の Flow アカウントの最低残高は、わずか 1 FLOW の予定であり、最初に必要なアクティビティのほとんどをカバーするには十分です。オンボーディングをより簡単にするため、開発者に明確なビジネスモデルがある場合（例：ユーザーへサブスクリプション手数料を請求する、またはゲーム内アイテムの販売など）、この最低残高はユーザーの代わりに開発者により提供することが可能です。FLOW へのアクセス権がない開発者は、トークン保有者から直接借りたり、または独自にセカンダリートークンを設定し、分散型、トラストレス、クラウドファンディング形式のコミュニティで FLOW へ両替することが可能です。

FLOW 残高が多いということは、ユーザーまたは開発者が、より高いストレージ容量へアクセスすることができるということを意味しています。バリデータがスケールメリットおよびストレージコストの軽減を実現すると、ロックされた FLOW、1 単位あたりのストレージ容量が、時間の経過とともに劇的に増加することが期待されています。

Flow エコシステムリザーブは、ネットワーク稼働後数年間において、広範囲におよびコミュニティ組織と連携し、1000 万アカウント以上へ分配する権限を有しています。これにより、Flow を使いたい、または Flow 上に構築したい人は誰でもアクセスできるようになります。

代替可能なトークンに必要なストレージは非常に小さい一方で、NFT はそれぞれ固有であるため、かなり大きなチェーン上のストレージ（および関連する FLOW の最低残高）が必要となります。パワーユーザーは、より高いストレージ容量にアクセスするため、独自に残高を維持することが可能です。

長期的には、ユーザーエージェント（ウォレット）および Dapps は順番に、リソースを削除、またはそれと同じくらい簡単に、オフチェーンまたはアーカイバルなチェーンソリューション（例：Filecoin、arweave、または Flow 上に直接構築されている同様のソリューション）にリ

ソースをバックアップし、ユーザーがネットワーク上のストレージを「リサイクル」する手伝いを行うことが可能です。

サービスプロトコル

分散型アプリケーションの新しいビジネスモデル、サービスプロトコル（またはミドルウェアプロトコル）とは、ネットワーク全体のアプリケーションで利用されるサービスを提供するスマートコントラクトです。Chris Burniske さんはこう [説明しています](#)：

ファイナンシャル、ソーシャル、テクノロジカルであれ、インターフェイス層に特定のサービスを提供することにフォーカスしているため、これらをサービス層プロトコルと呼んでいる人たちもいます。ファイナンシャルサービスには、両替、融資、リスク管理などが含まれます；ソーシャルサービスでは、投票の仕組み、仲裁、または法的契約管理を提供しています；テクノロジカルサービスは、キャッシング、ストレージ、ロケーション、およびそれら全てを結集した最高の物であるかもしれません。プロトコルサービスのために一元化された OS は、インターフェイス層にきっちりとまとめられるべきです。

サービスプロトコルはオープンソースであるため、ブロックチェーン全体でコードを簡単に移動することが可能です。複製が困難な価値は、ブロックチェーンがコーディネートしている **ステート**内に存在しています：ネットワークは、サービスのエンドユーザーのみならず、様々なエコシステム参加者全員へ影響を与えます。

その他のブロックチェーン上でのこのステートは、シャードへ分割またはシャード全体を埋めなければならない、これによりこれらを使用しているアプリケーションが複雑になり、コスト、レイテンシーおよびエラーの可能性が発生します。シャーディングはそもそも、サービスプロトコルを提供するネットワーク効果に水を差します。

On Flow, service protocols always exist in the same shared, ACID-compliant, state as every user, app, and other smart contract on the network. This makes them much more likely to be built on by other developers, accelerating their network effects. Flow では、ネットワーク上の各ユーザー、アプリやその他スマートコントラクトとして、サービスプロトコルは常に共有され、ACID に準拠した同一のステート内に存在しています。これにより、他の開発者がネットワーク上に構築することが可能となり、ネットワーク効果の加速を促します。

注入：セカンダリートークンの新しいモデル

現在のブロックチェーンでは、サービスプロトコルのほとんどで、構築されているエコシステムへ対し価値が発生しないセカンダリートークンが使用されています。その結果、依存しているセキュリティであるブロックチェーンとは異なるインセンティブとなっています。Flow では、ネイティブ FLOW トークンの Bonding curve メカニズムからトークンを「注入する」ため、キーとなるサービスプロトコルを推奨しています。

Bonding curve はもともと、薄商いであるときでも、トークンに対し強力な価格発見および流動性を提供するためのメカニズムとして開発されました。例えば、注入されたトークン INF は、次のトレーダーへ対する為替レートをわずかに増加させる（需要に応じ金額が増額する結果となる）と同時に、現在の為替レートで適切な量の FLOW を提供する場合、誰でも新しい INF トークンを作り出すことが可能なスマートコントラクトによりコントロールされます。逆に、同一のスマートコントラクトにより、INF 保有者は現在の価格（から小さなスプレッドを引いた価格）で保有分を FLOW と交換することができる可能性があり、これにより為替レートがわずかに低くなります。（この [2つの投稿](#) では、Bonding curve についてわかりやすく説明しています。）

注入されたトークンでは、この考えをさらに一歩進めており、予約トークンがセキュリティおよびガバナンス機能を備えている場合、Bonding curve 下でロックされたトークンは、プロトコルガバナンスへ直接かつ積極的に参加しながら、サービスプロトコルが基となるチェーンのセキュリティのサポートを可能とするために使用することができるということに言及しています：

- **保証された流動性：** Bonding curve は、サービストークン保有者が、FLOW に戻って来る流動性の高い市場が存在しているということを常に把握しているということを意味しています。サポーターは稼働初日から流動性があるということを知っているため、サービスプロトコルへは意識や関心が集まることとなるでしょう。

低いボラティリティ： トークンへ対する需要が変化する時代において、Bonding curve では、価格およびサプライの両方を変化に応じ調整することが可能です。これにより、固定サプライトークンの悩みの種である景気循環の規模や可能性を軽減します。

セキュリティへの貢献： FLOW を担保として利用することで、ネットワークで必要なセキュリティをサービスプロトコルが後押しします。より多くの FLOW が担保としてロックされるということは、ステーキングへ対し可能な分はより少なくなるということを意味し、自由市場においてリソースを適切に配分することを可能としています。

プロトコルガバナンスへの参加： FLOW により担保となったセカンダリートークンは、セカンダリートークンを使い投票することで、Flow プロトコルガバナンスへ参加することが可能となります。サービスプロトコルの所有者およびオペレーターは間違いなく、スマートコントラクトブロックチェーンにおいて最も重要なステークホルダーであるため、これが最善であると言えます。

Flow では、分散型ステーブルコインを最低 1 つ含む、ネットワーク全体の利益となる初期サービスプロトコルの開始のため、エコシステムの基金の大部分を寄付する可能性があります。これらの基金が、直接流通することはありません：その代わりに、ネットワーク全体でのアクティビティを生成するプロトコルをアシストし、必要なコストを補助するために使用されます。

Flow 上のステーブルコイン

ステーブルコインは、フィアット通貨または通貨バスケットに対する価値が安定している暗号トークンです。

消費者アプリケーションおよびゲーム内のステーブルコインの価値は、特に初めのうちは、主流の消費者（および彼らにサービスを提供しているビジネス）は、自身の国の通貨でのトランザクションをより好むというところにあります。同様に、フォワードコミットメントを実施しているビジネスは、予測可能性および費用として同一の通貨で売上を計上することができるというところに価値を置くことになります。

ステーブルコインは、Flow 上へ簡単に実装することが可能です。すでにいくつかを実装する予定です。ステーブルコインには、通常 2 種類あり、どちらもネットワークリソースへ支払うためには、FLOW トークンが必要です：

- **フィアット型ステーブルコイン**は、通常、監査済みの銀行口座内の償還可能なフィアット通貨の相当額に基づき供給される代替可能なトークンです。Flow の全ユーザー同様、フィアット型ステーブルコインの保有者も、FLOW 最低残高が必要となり、これは代わりにアプリケーションにより適用することが可能です。
- **アルゴリズム型ステーブルコイン**は、フィアット通貨に対する価値を安定させるため、サプライが自動で調整されるセカンダリートークンを作成するため、FLOW トークンそのものを担保として使用します。Flow は、最低 2 つのアルゴリズム型ステーブルコインを、ネイティブ FLOW トークンそのものにセキュリティがあるネットワーク上に実装する際の担保を得るため、FLOW トークンを優位に分配する権利を有しています。

時間の経過とともに、ユーザーが FLOW のネットワーク上での機能性に価値を置くようになると、ネイティブトークンは、固有の流動性および直接使用に基づいた交換手段として好まれるようになることでしょう。

ガバナンス

ローンチ時、Flow プロトコルでは、オフチェーンガバナンスを非公式に採用する予定です：分散型コミュニティのために構築する権限を持つ開発チームが独自に運用することになります。現在のビットコインまたはイーサリアムのように、誰でも [Flow GitHub repo](#) で改善提案をすることが可能であり、その後 Flow のチーフアーキテクトである Dieter Shirley および Alex Hentschel 率いる中心開発チームが調査をします。プロトコルのアップグレードは、採用について独自に決定するノードオペレーターへ対し提案されます。

コミュニティの努力により成り立つオンチェーンでの投票を、シグナリングメカニズムとして 2020 年後半に開始予定です：投票は拘束力を持ちませんが、コミュニティ全体で共有され、開発チームの努力を導きます。

さらに初年度は、自立分散型組織（DAO）全体において、投票に FLOW または「FLOW 注入型」トークンを必要とする様々なエコシステムの開発を進めて参ります。Flow ネットワーク上

に構築されたサービスプロトコル（例：ステーブルコイン）は、完全なオンチェーンガバナンスへ転送されるプロトコル初の主要コンポーネントとなります。

時間の経過とともに、オンチェーンガバナンスを実装するネットワークのアップグレードを決定したり、それに関するフィードバックを Flow コミュニティへお願いすることとなります。FLOW ステークホルダーは、日々の決定を行う代表者へ投票します。代表者の投票は、それぞれのトークン保有者が何もしなくても許可することが可能な（または積極的に覆すことが可能な）「デフォルト」として機能します。

ブロックチェーンへのアクセス権を持つ人が誰でも見ることができるよう、公開フォーラム上で提案をすることが可能です。実際当社では、トークンのステークホルダーが投票することなく、大部分が代表者により決定されることを期待しています。さらに全てが公で決定され、ステークホルダーは、特定の決定へ投票する、または代表者を入れ替えるために投票するための、トークンステークホルダーによる草の根活動を組織する機会を持つことができるようになります。

ガバナンスプロセスによる決定には 3 種類あります：

- **エコシステムに関する決定：**プロトコルの定義内で表すことが不可能なネットワークの機能に関する問題：これには、代表者の選出や基金が設定した補助金および賞金の決定が含まれます。
- **プロトコルパラメーター：**（ノードタイプごとの参加者数など）プロトコルのいくつかの側面はパラメーターとして設定され、プロトコルアップグレード（および新バージョンのノードソフトウェア）を必要としません。これらのパラメーターは、ガバナンスプロセスにより設定可能です。
- **プロトコルのアップグレード：**プロトコルのアップグレード（別名「ハードフォーク」）は、コンセンサスアルゴリズム、下位のネットワーク通信構造、新たな実行環境の変更または追加など、理論的にはプロトコルに関することは何でも変更することが可能です。実際、このようなアップグレードは非常にまれであり、大部分の FLOW ステークホルダーの参加や各ステークホルダーからの同意が必要となります。

設立チームとして、本文書にて、ネットワークがコミュニティガバナンスへ移行したとしても、精力的に保護して行くつもりである主要理念へ対する懸命なコミットメントを記録したいと思っています。未来のコミュニティメンバーは、これら理念に背く行動を取ることがないように、慎重な対応をお願いいたします：

- ノードタイプ間での力のバランスを維持する。
- インフレ率を可能な限り低く保つ（現在は最大 3.75%）。
- FLOW が担保となったセカンダリートークンの第一次準備資産として利用されるようにする。
- トランザクションおよびストレージ手数料が、短期間（数分および数時間）では十分予測可能であると同時に、長期間（数日および数週間）にわたり市場の需要に対応できるようにする。

最後に：Genesis

ローンチを迎えるにあたり、100名以上の開発者、設計者、さらに複数の企業および国からの製品および人々が努力を集結し、Flow ネットワーク、関連するツールおよびコンポーネント、およびネットワーク上に構築されたコンテンツを作り上げました。

製品が完全なオープンソースであること、トークンが作成され、メインネットが十分に機能していることにより、新世代のアントレプレナー、開発者、設計者およびクリエイターが Flow に参加することを可能としています。

Flow はメインストリームでの導入を目的とし、設計されています。数十億というファン基盤に組み込まれているネットワークサーバー上ですでにアプリケーションの構築を進めております。これは、コミュニティへ対し、コミュニティ主導のガバナンスおよび最終的な所有権はもちろん、新しいビジネスおよび設立モデルを試みるための新たな製品およびサービスを構築する機会を示しています。

Flow は、信頼性が高く、時間とともに発展して行く将来性のある基盤はもちろん、迅速な実験を行うためのサンドボックスです。

FLOW トークンは、開発者のための完全に新しいビジネスモデルを後押しし、数百万人のアーリーアダプターに対し、初めて Dapps を利用するためのオンボーディングを実施します。最終的には、FLOW はネットワークと一緒に構築および利用するため、コミュニティ全体をまとめ、価値を生み出し、共有します。

世界をよりオープンで、透過的、そして喜びに溢れた場所へすることが Flow の使命です。皆様のご参加をお待ちしております！

クリエイターの参考になるリソースをいくつかご紹介いたします：

1. [Flow ガイド](#)：Flow のユニークなアーキテクチャ、当社がスケーラビリティに関するその他のソリューションを信用していない理由、当社のアプローチがユーザーおよび開発者にとってなぜ優れているのか、についてここから読むことが可能です。
2. [Flow Playground](#)：初の高水準リソース指向プログラミング言語であるケイデンスについて学習し、当社の素晴らしいチュートリアルを参考に、Flow スマートコントラクトを書いてみましょう。
3. [トランザクションジャーニー（近日公開）](#)：アカウントの作成からトランザクションの署名まで、ユーザージャーニーをたどり、Flow が既存のネットワークとどのように異なるのか、そしてなぜより優れているのかをここから読むことが可能です。
4. [開発者ツール](#)：構築する準備が整ったら、喜んでください。Flow では素晴らしいエミュレータ、SDK、コマンドラインインターフェースや関連するツールを提供しています。